

令和3年度高知県健康診査管理指導協議会
子宮がん部会 議事概要

1. 日時 令和4年1月28日(金) 19:00～
2. 形式 WEB開催(高知県庁健康政策部 健康対策課内)
3. 出席者 委員7名中7名出席、事務局3名出席

氏名	所属	職種(又は役職)
川村 由佳	高知県総合保健協会	臨床検査技師
木下 宏美	高知県産婦人科医会	医師
坂本 康紀	高知県医師会	医師
滝川 稚也	国立病院機構高知病院	医師
中屋 美智	高知市保健所	健康推進・管理担当係長
前田 長正	高知大学医学部	医師
和田 典子	香美市健康介護支援課	保健師

(敬称略、五十音順)

4. 議題

- (1) 子宮頸がん検診の実績等について
①令和2年度 市町村子宮頸がん検診の実績について
②令和2年度 県全体のがん検診の実施状況調査結果について
③ベセスダシステムによる検診実施状況について
④令和3年度 各種検診の検診費用徴収額調べについて
- (2) 受診率向上対策について
①クーポン事業での子宮頸がん検診の実施状況について
- (3) 令和3年度 子宮頸がん検診精度管理調査結果について
- (4) その他
①高知県子宮頸がん検診実施指針の改正について
②その他報告事項

5. 協議事項

議題（1）子宮頸がん検診の実績等について

- ①令和2年度 市町村子宮頸がん検診の実績について
 - ・令和2年度に市町村が実施した子宮頸がん検診の、受診者数、精検者数、精検結果等について報告した。特に令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による検診中止や受診控えの影響で受診者数が大きく減少していた。
 - ・「要精検率」以外の精度管理指標値（「精検受診率」「がん発見率」「陽性反応的中度」）について国の許容値外であったこと、またその要因について報告した。
 - ・現在、県指針上の取扱いでは上皮内がんを「がん」として集計しているが、国の様式は平成26年から上皮内がんを「CIN3」として集計し、がんに含まない取扱いとなっていたため、令和4年度から国の取扱いに統一することを報告した。
- ②令和2年度 県全体のがん検診の実施状況調査結果について
 - ・令和2年度の職域を含めた県全体のがん検診実施状況について報告した。なお、コロナ禍であっても職域検診は概ね例年どおり受診されており、住民検診での落ち込みが大きかった。
- ③ベセスダシステムによる検診実施状況について
 - ・平成24～令和元年度の検診結果の推移と、令和2年度の細胞診判定の内訳を報告した。
- ④令和3年度 各種検診の検診費用徴収額調べについて
 - ・令和3年度の市町村毎の検診自己負担額について報告した。

議題（2）受診率向上対策について

- ①クーポン事業での子宮頸がん検診の実施状況について
 - ・平成21年度～令和2年度までの実施状況について報告した。

議題（3）令和3年度 子宮頸がん検診精度管理調査結果について

- ・厚生労働省の研究班による検診評価の取組により、県内の市町村及び検診機関の子宮頸がん検診のチェックリスト遵守状況調査（令和3年度実施分）と精度管理指標調査（令和元年度実施分）を実施し、その結果を報告した。

議題（4）その他

- ①高知県子宮頸がん検診実施指針の改正について
 - ・国のがん検診実施のための指針の令和3年10月1日付け改正点について報告した。
 - ・県指針について、令和4年4月1日付けで下記の改正を行うことが承認された。
 - ✓国指針改正に伴う変更（※受診を特に推奨するものの追加など）
 - ✓様式2号 問診項目9の文言の修正
 - ✓上皮内がんを「CIN3」とする取扱いへの変更に伴う、様式3号、8号、10号及び14号の変更
- ②その他報告事項
 - ・令和3年度より SNS を活用した広報啓発を開始したことを報告した。
 - ・HPV ワクチンの積極的勧奨の再開が、昨年11月に国で正式決定されたことを報告した。